

# 2019年度 マロニエ幼稚園 学校評価報告書

2019年11月

I. 報告者 幼保連携型認定こども園 マロニエ幼稚園園長 佐久間 久枝

II. 趣 旨 2019年度の学校（幼稚園）評価を実施した結果については、教職員全員において現状（課題や改善事項）を認識するとともに、今後の保育・幼児教育の取組みや本園の運営に生かす改善方策を策定することとした。また、保護者の方々やステークホルダーに公表し、そこでの意見や提言等を反映させていくことを目標とする。

## III. 自己点検・評価結果報告

1. 実施時期 2019年8月

2. 点検・評価対象者 認定こども園マロニエ幼稚園に在職する専任教職員

3. 点検・評価項目

【幼稚舎・保育舎〔共通〕】

- (1) 教育目標・教育方針 (2) 教育課程・指導計画 (3) 教育環境 (4) 行事  
 (5) 教職員の役割・資質向上 (6) 特別支援教育 (7) 保健・安全指導 (8) 保護者との連携・情報  
 (9) 子育て支援 (10) 運営管理

4. 集計結果（抜粋）

点検・評価項目 (大項目・小項目)	A:よく当て はまる	B:やや当て はまる。	C:あまり当て はまらない	D:全く当て はまらない
<b>I 教育目標・教育方針</b>	<b>81%</b>	<b>19%</b>		
1) 幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿ったものになっている。	81%	19%		
<b>II 教育課程・指導計画</b>	<b>84.5%</b>	<b>13.5%</b>	<b>2%</b>	
1) 子どもたちの年齢ごとの教育課程・指導計画は適切である。	81%	19%		
2) 同計画は必要に応じて見直されている。	88%	8%	4%	
<b>III 教育環境</b>	<b>56%</b>	<b>36.5%</b>	<b>7.5%</b>	
1) 園児の保育・教育に自然や施設を有効に活用している。	47%	38%	15%	
2) 園児の思いや言動を参考にし保育室の装飾や展示を考えている。	65%	35%		

<b>IV 行事</b>	<b>72.3%</b>	<b>22.7%</b>	<b>5%</b>	
1) 行事の種類や実施回数は適切であるか、常に検証している。	70%	15%	15%	
2) 保護者の要望や意見を取入れている。	70%	30%		
3) 計画・実施・評価・改善(PDCA)の体制をとっている。	77%	23%		
<b>V 教職員の役割・資質向上</b>	<b>67.3%</b>	<b>27%</b>	<b>5.7%</b>	
1) 子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育・教育を心掛けている。	81%	19%		
2) 全体の中でも一人一人を大切に受け止めた指導を心掛けている。	88%	12%		
3) 各種研修会等へ積極的に参加し、その内容を報告するとともに、園内へ成果を還元している。	42%	35%	23%	
4) 業務の問題点、懸案事項は、情報共有し改善案の提示に努めている	58%	42%		
<b>VI 特別支援教育</b>	<b>57.7%</b>	<b>35%</b>	<b>7.3%</b>	
1) 当該園児について、教職員全員で共通理解をはかり、支援体制を整えている。	58%	39%	3%	
2) 医療、福祉等関係機関との連携が適切に図られている。	65%	35%		
3) 発達理解を深めるために、自己研鑽し、研修会に参加している。	50%	31%	19%	
<b>VII 保健・安全指導</b>	<b>77%</b>	<b>22.3%</b>	<b>0.7%</b>	
1) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	92%	8%		
2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、家庭への啓発を行っている。	70%	30%		
3) 園児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	73%	27%		
4) 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っている。	73%	24%	3%	

<b>VIII 保護者との連携・情報</b>	<b>86.3%</b>	<b>13.7%</b>		
1) 寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応している。	73%	27%		
2) 行事予定やクラス便り、HP等保護者等を対象とした園の情報を共有し適切に伝えることができている。	88%	12%		
3) 園児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。	88%	12%		
4) 保護者との連絡手段及び情報共有は、通常業務の範囲内で行う。	96%	4%		
<b>IX 子育て支援</b>	<b>77.5%</b>	<b>22.5%</b>		
1) 保護者の子育てについて相談にのっている。	70%	30%		
2) 未就園児に対して園庭を開放したり園に関する情報を伝えている。	85%	15%		
<b>X 運営管理</b>	<b>63.4%</b>	<b>24.6%</b>	<b>10%</b>	<b>2%</b>
1) 保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	92%	8%		
2) 園内での役割分担が明確である	62%	38%		
3) 職務に関連して知りえた秘密については、厳守している。	96%	4%		
4) 保育舎、幼稚舎相互間で園児の様子を共有し、教員間で意見交換ができている。	32%	46%	15%	7%
5) 双方の園児との交流が、保育に活かされている。	35%	27%	35%	3%

注1) 各点検・評価項目（大項目）の集計結果については、さらに細分化された点検・評価項目（小項目）を総合して、その平均値を算出した。

## 5. 点検・評価結果及び課題等

### (I) 【教育目標・教育方針】

定期的に検証すべき重要な項目であるが、「よく当てはまる」が81%以上の評価となった。（昨年比：5%減）

### (II) 【教育課程・指導計画】

保育・教育の基本となる点検項目であるが、大項目については、「よく当てはまる」が、84.5%以上の評価となった。（昨年比：1.5%減）

### (Ⅲ) 【教育環境】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が85%以上の評価となった。昨年度に引き続き、園児の保育・教育に、周辺の自然や施設を有効に活用していることの重要性を十分に認識していることが明らかとなった。(昨年比：-1%減)

### (Ⅳ) 【行事】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が100%以上の評価となった。特に、PDCAサイクルを踏まえた行事の取り組みは、保護者の方の意見や要望を反映しながら、次期行事に向けた質の向上を目指す。

### (Ⅴ) 【教職員の役割・資質向上】

大項目及び各点検・評価項目の3項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が100%以上の評価となった。また、「各種研修会等へ積極的に参加し、その内容を園内に還元しているか」については、今後も、繁忙な業務の隙間時間を踏まえて、研修発表会等を企画運営することについて検討する。

### (Ⅵ) 【特別支援教育】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が97%以上の評価となった。また、「発達理解を深めるために、自己研鑽し、研修会に参加している」については、昨年度と比較し約8割以上の教職員が十分であると評価している。

### (Ⅶ) 【保健・安全指導】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様97%以上の評価となった。園内では、リスクマネジメントとして、啓発や訓練等を定期的に行っているが、引き続き定期的に企画運営していく。

### (Ⅷ) 【保護者との連携・情報】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様100%の評価となった。例年、保護者の方におかれては園行事に積極的に参加し、協力していただいております。今後ご理解、ご協力を仰ぎたい。

### (Ⅸ) 【子育て支援】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様100%の評価となった。なお、保護者の方から子育てについて相談にのることは、今後も積極的に対応させていただくことが再認識できた。

### (Ⅹ) 【運営管理】

大項目及び各点検・評価項目の3項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が100%以上の評価となったが、「幼稚舎、保育舎間での園児の交流及び教職員相互間における意見交

換等が十分に生かされている」の懸案事項については、70%以上が達成できていると評価された。

## 5. 総括

集計結果については、個々人による自己点検・評価の結果となっており、評価の度合いが異なるが、本園における現状を確認、認識することができるとともに、今後の課題や改善点、ひいては発展に向けた方策としての検討事項が明確となった。

その結果、点検・評価の大項目10のうち、達成できているもの（分類）として、「A:よく当てはまる」「B:や当てはまる」に位置付けた場合、100%の評価が3項目（昨年比：1項目減）、90%以上の評価が6項目、85%以上の評価が1項目にそれぞれ分類された。また、全体の評価結果から判断すると、昨年度と比較してより評価の精度があがっており、各点検・評価項目についても、概ね達成できていると分析できる。

なお、本園の課題や問題点として、「保育舎、幼稚舎間における運営体制において、教職員相互間の情報共有及び意見交換が必ずしも十分ではない、或いは、双方の園児との交流が、保育に生かされていることが十分ではない」等が毎年浮き彫りとなっていたが、今年度は改善が見られ、7割以上の教職員が適切であると評価している。

## ご挨拶

今年度も、学校評価（幼稚園評価）の一環として教職員による自己点検・評価を実施いたしました。

例年実施しています本園における幼稚園評価の結果については、教職員一同が真摯に受け止め、定期的な意見交換を行いながら、本園の改善や発展に向けた方策に取り組んで参りたいと存じます。今後も保護者の方々や関係者の皆さまから様々なご意見、ご要望等を伺いながら、質の高い幼稚園運営を目指していく所存でございます。

今後とも皆さまのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。